

# BASECAMP™ ( MAC® )

---

## マニュアル

© 2015 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、[www.garmin.com](http://www.garmin.com) を参照してください。

Garmin®、および Garmin ロゴは、Garmin Ltd. とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。BaseCamp™、および Garmin Express™ は、Garmin Ltd. とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

App Store<sup>®</sup> は Apple Inc. のサービスマークです。Mac<sup>®</sup> は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。YouTube™ は、Google Inc. の商標です。その他の商標および商標名はそれぞれの所有者の所有物です。

# 目次

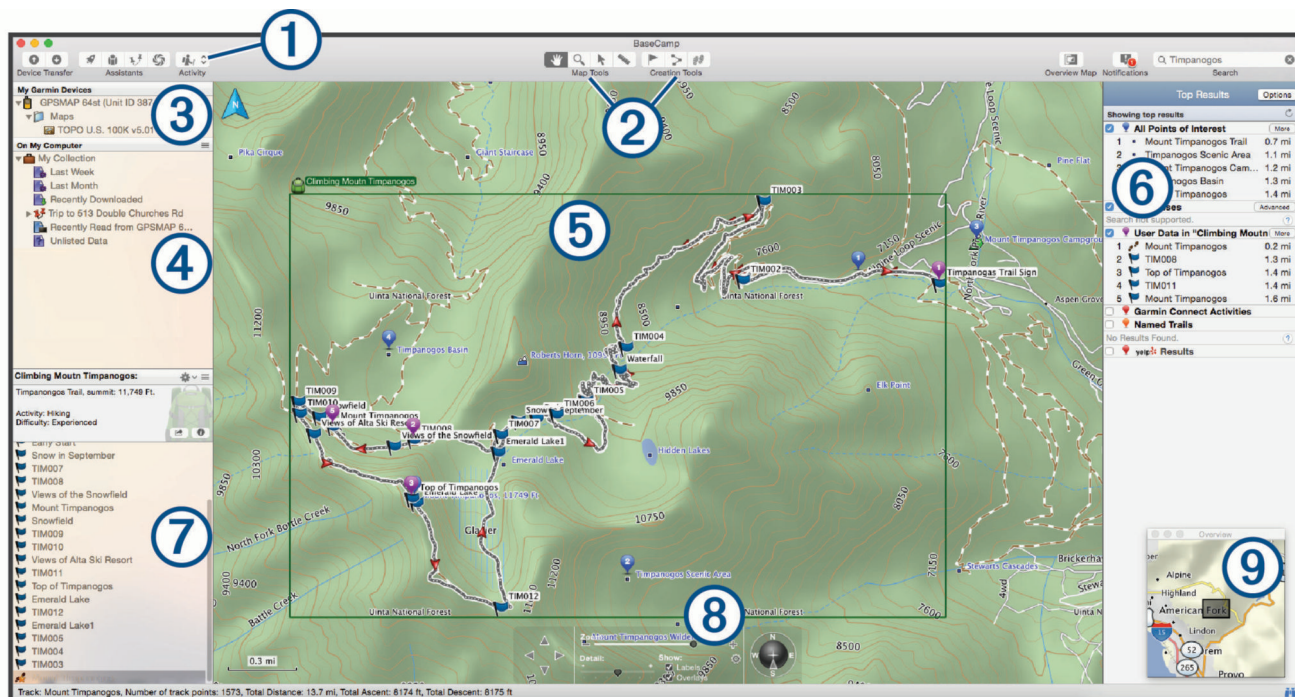
はじめに	1
インターフェイス	1
ツールバーをカスタマイズする	1
ツールバーの表示と非表示を切り替える	2
通知を使用する	2
BaseCamp アプリケーションを更新する	2
デバイスソフトウェアを更新する	2
アクティビティ	2
アクティビティを選択する	2
アクティビティを追加する	2
アクティビティをカスタマイズする	2
アクティビティを非表示にする	2
[ 地図 ]	2
地図を選択する	2
地図コントロール	3
地図表示	3
地図表示を変更する	3
地図を移動する	3
地図をズームインまたはズームアウトする	3
地図を回転する	3
3D 表示角度を変更する	3
地図を参照する	3
地図上で距離を測定する	3
接続したデバイスの地図を表示する	3
デバイスに地図を送信する	3
地図を印刷する	4
BirdsEye イメージと Garmin カスタム地図	4
BirdsEye イメージ	4
BirdsEye サブスクリプションおよびクレジット	4
Mac コンピュータに BirdsEye イメージをダウンロードする	5
ダウンロードした BirdsEye イメージをデバイスに送信する	5
サブスクリプションの有効期限が切れた後にダウンロードした BirdsEye イメージ	5
BirdsEye イメージを削除する	5
Garmin カスタム地図	5
Garmin カスタム地図をインポートする	5
オーバーレイを表示する	5
オーバーレイを非表示にする	6
オーバーレイの描画の順序を変更する	6
検索ツールバー	6
基本検索を実行する	6
詳細検索を実行する	6
検索メニュー	6
検索から場所を保存する	6
ウェイポイント	6
地図上でウェイポイントを登録する	6
ウェイポイントを移動する	6
ウェイポイントプロパティを編集する	6
ジオキャッシュ	6
接続した Garmin デバイスからジオキャッシュをインポートする	7
ジオキャッシュファイルをインポートする	7
ジオキャッシュを検索する	7
ジオキャッシュに発見済みのマークを付ける	7
ヒントとログを表示する	7
ジオキャッシュの Web ページを表示する	7
地図上に表示されたジオキャッシュ情報を変更する	7
ルート、トリップ、トラック、アドベンチャー	7
ルート	7

ルートの作成	7
シンプルルートを作成する	7
ウェイポイントを使用してルートを作成する	7
地図上でルートを作成する	8
トラックに基づいてルートを作成する	8
ルート名を変更する	8
ルート情報を編集する	8
ルートのアクティビティを変更する	8
ルート内のポイントを編集する	8
地図上でルートポイントを編集する	8
ルート方向指示を表示する	8
トリッププランナー	8
新しいトリップを作成する	8
トリップと拠点	9
トリップ表示を変更する	9
トリップを編集する	9
トリップ名と拠点名を編集する	9
拠点をトリップに追加する	9
拠点到ジャンル別施設を追加する	9
拠点を編集する	9
デバイスにトリップを送信する	9
トラック	9
トラックポイントおよび統計を表示する	9
トラックの編集	10
基本的なトラックプロパティを編集する	10
高度なトラックプロパティを編集する	10
トラックポイントを編集する	10
トラックポイントをフィルタリングする	10
地図上でトラックポイントを編集する	10
トラックを結合する	10
ルートからトラックを作成する	10
地図上でトラックを作成する	10
グラフとシミュレーション	11
グラフを表示する	11
グラフ	11
ルートまたはトラックシミュレーションを再生する	11
ルートまたはトラックシミュレーションを制御する	11
Garmin アドベンチャー	11
アドベンチャーを作成する	11
アドベンチャーを編集する	11
アドベンチャーに写真を追加する	12
アドベンチャーにビデオを追加する	12
アドベンチャーに注釈を追加する	12
アドベンチャーを表示する	12
BaseStation ライブ追跡	12
BaseStation で追跡する	12
BaseStation で追跡する	12
BaseStation からトラックを保存する	12
写真にジオタグを付ける	12
インポートした写真にジオタグを付ける	12
BaseCamp アプリケーションを使用して写真にジオタグを付ける	12
写真をトラックに一致させる	13
ジオタグ付きの写真を移動する	13
geotag 付きの写真を編集する	13
データ管理	13
リストおよびリストフォルダについて	13
リストを作成する	13
アイテムをリストに追加する	13
リストフォルダを作成する	13
リストフォルダにコンテンツを追加する	13
アイテムをリストから削除する	13
スマートリストを作成する	13
アイテムを含むリストをすべて表示する	13

リストまたはリストフォルダを削除する .....	13
保存するデータファイルの場所を選択する .....	14
複数のアイテムを選択する .....	14
アイテムのプロパティを表示する .....	14
アイテムにメモやリンクを追加する .....	14
データを削除する .....	14
接続されているデバイスからデータを転送する .....	14
接続されているデバイスにデータを送信する .....	14
高度なデータ管理 .....	14
データをインポートする .....	14
データをエクスポートする .....	15
データをバックアップする .....	15
バックアップデータを復元する .....	15
カスタム POI を管理する .....	15
<b>オプション .....</b>	<b>15</b>
一般環境設定 .....	15
ディスプレイと地図の環境設定 .....	15
地図機能を非表示にする .....	15
ルート探索の環境設定 .....	15
エリアの回避を追加する .....	16
エリアの回避を削除する .....	16
データ転送の環境設定を設定する .....	16
検索の環境設定を設定する .....	16
マウスとキーボードの環境設定 .....	16
詳細環境設定 .....	16
工場出荷時の初期設定にリセット .....	16
<b>索引 .....</b>	<b>17</b>

# はじめに

## インターフェイス



① アクティビティ	アクティビティを使用して、BaseCamp アプリケーションによる情報の表示方法を変更できます(アクティビティ, 2 ページ)。(アクティビティ, 2 ページ)
② ツールバー	機能やツールにすばやくアクセスできます。ツールバーをカスタマイズできます (ツールバーをカスタマイズする, 1 ページ)。
③ デバイス	ライブラリおよびデバイス領域の上部に、接続されているデバイスのリストが表示されます。 接続されているデバイス上の地図製品を表示できます。 ウェイポイントおよびルート情報を接続されているデバイスに送信し (接続されているデバイスにデータを送信する, 14 ページ)、 接続されているデバイスから情報を取得できます (接続されているデバイスからデータを転送する, 14 ページ)。
④ マイコレクション	(データ管理, 13 ページ)内のリストとフォルダを、ライブラリおよびデバイス領域のデバイスリストの下に表示します(データ管理, 13 ページ)。マイコレクション
⑤ [ 地図 ]	地図、ウェイポイント、ルート、軌跡(トラック)、ジャンル別施設、およびその他の地図の詳細が表示されます ([ 地図 ], 2 ページ)。
⑥ 検索結果	検索ツールバーを使用して、保存したデータと地図情報を検索およびフィルタリングできます (検索ツールバー, 6 ページ)。 検索結果が表示されます。
⑦ 情報	(データ管理, 13 ページ)のリストアイテム、またはライブラリおよびデバイス領域で選択した接続されているデバイスリストが表示されます(データ管理, 13 ページ)。マイコレクション
⑧ 地図コントロール	地図のナビゲーションを実行したり、表示を調整したりできます (地図コントロール, 3 ページ)。
⑨ 概要地図	広範囲な概要地図を表示することで、地図の地理的事実の概略が提供されます (地図表示, 3 ページ)。

## ツールバーをカスタマイズする

ツールバーのアイテムを追加または削除したり、ツールバーアイテムの外観をカスタマイズしたりできます。

1 表示 > ツールバーのカスタマイズを選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- アイテムをツールバーに追加するには、アイテムをツールバーにドラッグします。
- アイテムをツールバーから削除するには、アイテムをツールバーからドラッグします。

- ツールバーの外観をカスタマイズするには、表示メニューからオプションを選択し、アイコンとテキストの外観を変更します。
- ツールバーのアイコンとテキストのサイズを小さくするには、小さいサイズを使用するチェックボックスをオンにします。
- デフォルトツールバーに戻すには、デフォルトセットをツールバーにドラッグします。


3 完了を選択します。






## ツールバーの表示と非表示を切り替える

- ツールバーを非表示にするには、表示 > ツールバーを隠すを選択します。
- ツールバーを表示するには、表示 > ツールバーを表示を選択します。

## 通知を使用する

新しい更新、アップグレード、機能、アクションが使用可能になると、ツールバーの右上隅に  が表示されます。通知は表示、却下、および消去できます。

-  を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
  - 通知の追加情報またはアクションを表示するには、 を選択します。
  - 通知を確認するには、 を選択します。
  - すべての通知を確認するには、消去を選択します。

## BaseCamp アプリケーションを更新する

BaseCamp アプリケーションを更新するには、インターネット接続を有効にしておく必要があります。

注：BaseCamp を Mac App Store<sup>SM</sup> からインストールした場合、この機能は使用できません。

デフォルトでは、アプリケーションの更新が自動的に確認されます。アプリケーションは手動で更新することもできます。

- BaseCamp > 更新を確認を選択します。
- 更新が利用できる場合、今すぐ更新をダウンロードを選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
  - アプリケーションウィンドウを閉じて更新をインストールするには、今すぐ更新を適用を選択します。
  - BaseCamp アプリケーションの次回起動時に通知するには、後でするを選択します。
- 必要に応じて、画面上の指示に従いインストールを完了します。

## デバイスソフトウェアを更新する

デバイスソフトウェアを更新するには、まず Garmin<sup>®</sup> WebUpdater アプリケーションをインストールする必要があります。

BaseCamp アプリケーションを使用してデバイスを最新のソフトウェアに更新できます。

- デバイスを右クリックして、新しいデバイスソフトウェアの確認を選択します。
- デバイスで使用可能なソフトウェアの更新がある場合は、更新を選択します。
- 画面に表示される指示に従います。

## アクティビティ


アクティビティを使用して、BaseCamp アプリケーションによる情報の表示方法をすばやく変更できます。各アクティビティには、そのアクティビティに最適化されたルーティングと表示環境設定が保存されます。それぞれのアクティビティをカスタマイズしたり、または新しいアクティビティを作成したりできます。

## アクティビティを選択する

ツールバーのドロップダウンリストで、アクティビティを選択します。




新しく作成するすべてのルートでデフォルトで選択したアクティビティが使用されます。ルートプロパティを編集して、ルートで使用されるアクティビティを変更できます (ルート探索の環境設定, 15 ページ)。

## アクティビティを追加する

- ツールバーから、アクティビティ > アクティビティの管理を選択します。
-  を選択します。
- アクティビティ名を入力します。
- アクティビティタイプを選択します。
- アクティビティのアイコンを選択します (オプション)。
- OK を選択します。
- アクティビティプロフィールのオプションを選択します (オプション) (アクティビティをカスタマイズする, 2 ページ)。


## アクティビティをカスタマイズする

各アクティビティのオプションは調整することができます。一部のアクティビティで、使用できないオプションがある場合があります。

- 編集 > アクティビティの管理を選択します。
- アクティビティを選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
  - アクティビティの使用中に地図に表示される機能をカスタマイズするには、 (ディスプレイと地図の環境設定, 15 ページ)。
  - アクティビティのルート環境設定をカスタマイズするには、 (ルート探索の環境設定, 15 ページ)。
  - アクティビティの名前とアイコンをカスタマイズするには、 を選択します。

## アクティビティを非表示にする

アクティビティを非表示にして、ツールバーのドロップダウンリストに表示されないようにすることができます。

- 編集 > アクティビティの管理を選択します。
- 非表示にするアクティビティを選択します。
-  を選択します。

## [ 地図 ]

基本地図には、主要都市および高速道路が含まれます。他の地図製品には、ストリート、住所、ジャンル別施設 (POI)、または地形情報などの追加情報が含まれます。地図データは、地図がインストールされ、ロック解除および選択されている場合にのみ表示されます。

BaseCamp アプリケーションを使用して、互換性のある GPS デバイスまたは SD カードにロードされた地図を表示できます (接続したデバイスの地図を表示する, 3 ページ)。

地図上に表示する詳細情報の量は、表示の環境設定およびその他の地図機能をカスタマイズすることにより、変更できます。 (ディスプレイと地図の環境設定, 15 ページ)。

## 地図を選択する

地図データを表示する前に、地図製品をロック解除する必要があります。

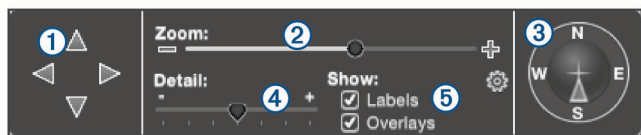
それぞれの地図製品には、異なる種類の地図データが含まれています。複数の地図製品がコンピュータにインストールされている場合、またはデバイスにプレインストールされている地図がコンピュータに接続されている場合は、表示する地図製品を選択できます。

注：選択された地図製品は、ルートの作成方法および地図上での表示方法に影響します。ルート进行操作する場合は、詳細な道路および場所情報を含む地図を選択する必要があります。

- 地図を選択します。
- インストールされている地図製品を選択します。

## 地図コントロール

地図の一番下に地図コントロールバーが表示されます。



① 移動矢印	選択して地図を移動します。
② ズームスライダ バー	スライドさせて地図を拡大または縮小します。
③ コンパスグロー ブ	ドラッグして地図の方向および表示角度を回転させ ます。
④ 詳細スライダバ ー	スライドさせて地図上に表示する詳細情報の量を調 整します。地図の描画速度を上げるには、詳細度を 下げます。
⑤ 表示オプション	ラベルとオーバーレイを表示または非表示にします ( <a href="#">ディスプレイと地図の環境設定</a> , 15 ページ)。

## 地図表示

BaseCamp アプリケーションを使用して、地図を 2D 表示、3D 表示、またはその両方で表示できます。

概要地図では、あまり詳細ではない広範囲の表示になっています。概要地図は、表示または非表示にしたり、メイン地図表示の任意の場所に移動したりすることができます。

### 地図表示を変更する

- 1 表示を選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
  - 地図を上空から見たような 2D で地図を表示するには、**2D 地図のみを表示**を選択します。
  - 調整可能な 3D で地図を表示するには、**3D 地図のみを表示**を選択します。
  - 2D 地図と 3D 地図を左右に並べて表示するには、**2D と 3D で地図を表示**を選択します。
  - 非表示になっているときに概要地図を表示するには、**概要地図を表示**を選択します。
  - 表示されているときに概要地図を非表示にするには、**概要地図を隠す**を選択します。

### 地図を移動する

次のの中からオプションを選択します。

- ツール > ハンドを選択して、地図をドラッグします。
- 概要地図をドラッグします。  
概要地図上の暗色の長方形は、地図に表示されている範囲を表します。

### 地図をズームインまたはズームアウトする

- 1 ツール > ズームを選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
  - 地図上のポイントをクリックすると、ズームインします。
  - 地図上のポイントを右クリックすると、ズームアウトします。
  - マウスのスクロールホイールを使用すると、拡大 / 縮小します。
  - 地図上でドラッグすると、その範囲でズームインします。

### 地図を回転する

2D 表示で地図を回転できます。

- 1 ツール > ハンドを選択します。
- 2 地図を右クリックして、左または右にドラッグします。

- 3 ノースアップの方向に戻すには、表示 > ノースアップを選択します。

### 3D 表示角度を変更する

地図表示角度を調整する前に、地図の 3D 表示を有効にする必要があります ([地図表示を変更する](#), 3 ページ)。

- 1 ツール > ハンドを選択します。
- 2 地図を右クリックして、上、下、左、または右にドラッグします。
- 3 ノースアップの方向に戻すには、表示 > ノースアップを選択します。

## 地図を参照する

地図から直接オブジェクトの詳細情報を表示したり、さまざまな操作を実行できます。表示されるアクションは、カーソル付近の地図情報とアイテムによって変わります。

- 1 ツール > 選択を選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
  - 地図上の特定の範囲またはアイテムの詳細情報を表示するには、そこにマウスを重ねます。
  - 利用可能なオプションのリストを表示するには、地図上の特定の範囲またはアイテムを右クリックします。

## 地図上で距離を測定する

地図上では、距離、方向、および複数ポイント間の範囲を測定できます。

- 1 ツール > 測定を選択します。
- 2 地図上で始点を選択します。
- 3 2 番目のポイントを選択し、測定する区間をマークします。  
2 つのポイント間に線が表示され、地図上に次の情報が表示されます。
  - 2 つのポイント間の距離。
  - 最初のポイントから 2 番目のポイントへの方向。
  - 最初のポイントから 2 番目のポイントへの高度変化 (地形情報のみ)。
- 4 追加のポイントを選択して、区間を追加します。  
次の 2 つのポイント間に線が表示され、最初のポイントと最後のポイント間の範囲に測定値が影付きで表示されます。地図上に次の情報が表示されます。
  - 最初のポイントから最後のポイントまでの合計の距離。
  - 最初のポイントから最後のポイントへの方向。
  - 区間で囲まれた領域の合計。
  - 各ポイント間の高度変化と全区間の合計の上昇変化および下降変化 (地形情報のみ)。
- 5 地図からすべての区間を消去して最初からやり直すには、ツール > 測定を選択します。

## 接続したデバイスの地図を表示する

BaseCamp アプリケーションを使用して、互換性のある GPS デバイスまたは SD カードにロードされた地図を表示できます。

- 1 コンピュータに GPS デバイスまたは SD カードリーダーを接続します。  
詳細については、デバイスのオーナーズマニュアルを参照してください。  
ライブラリおよびデバイス領域にデバイス名または SD カード名が表示されます。
- 2 地図を選択して、地図を選択します。

## デバイスに地図を送信する

保存されたアイテムを接続デバイスに送信する際に、それらのアイテムの周辺エリアの地図も送信できます。

- 1 デバイスをコンピュータに接続します。

- 2 マイコレクション > 転送 > 'マイコレクション'をデバイスに送信を選択します。
- 3 デバイスを選択し、完了後、MapInstall で地図を送信チェックボックスをオンにします。
- 4 送信を選択します。
- 5 画面に表示される指示に従います。

## 地図を印刷する

地図の範囲を 1 ページに印刷したり、地図を複数ページにわたって印刷してポスター印刷を作成したりすることができます。

- 1 地図で特定の範囲を選択します。
- 2 必要に応じて、その場所でズームインします。
- 3 ファイル > 印刷を選択します。
- 4 印刷される地図のタイトルを入力します。
- 5 レイアウトを選択します。
- 6 次のの中からオプションを選択します。
  - 地図の範囲を 1 ページに印刷するには、1 ページに合わせて印刷しますを選択します。
  - 複数ページに印刷するには、ポスターを印刷を選択します。  
スライダバーを使用して、地図の寸法とページ数を定義できます。
- 7 ページ設定を選択して、ページの方角や用紙サイズなどのページの基本設定を変更します (オプション)。
- 8 印刷出力の表示と調整を行うには、プレビュー / 印刷を選択します (オプション)。
- 9 印刷を選択します。

## BirdsEye イメージと Garmin カスタム地図

「オーバーレイ」と呼ばれる追加の地図情報をダウンロードまたはインポートして、地図上に表示できます。BirdsEye Satellite Imagery などのオーバーレイは、コンピュータまたは互換性のある Garmin デバイスに保存できます。オーバーレイデータは、互換性のある Garmin デバイス間で転送したり、リストを使用して整理したりするなど、他のデータと同じように管理できます。(リストおよびリストフォルダについて、13 ページ)。

## BirdsEye イメージ

BirdsEye イメージは、詳細な衛星イメージおよびラスターベースの地形情報を含む、ダウンロード可能な高解像度の地図イメージを提供します。BaseCamp アプリケーションを使用して、BirdsEye イメージをコンピュータにダウンロードおよび表示したり、互換性のある Garmin デバイスにイメージを転送したりできます。

### BirdsEye サブスクリプションおよびクレジット

BirdsEye イメージをダウンロードして使用するには、デバイスにアクティブな BirdsEye サブスクリプションまたはクレジットが必要です。お客様の地域で利用できる BirdsEye 製品のサブスクリプションまたはクレジットを購入するには、[garmin.com/birdseye](http://garmin.com/birdseye) にアクセスしてください。

BirdsEye Satellite Imagery および BirdsEye TOPO Raster 製品では、サブスクリプション期間中イメージを無制限にダウンロードできます。サブスクリプション 1 つは、1 台のデバイスと関連付けられます。サブスクリプション製品については、デバイスのサブスクリプション有効期間が切れた後は、ダウンロードしたイメージをデバイスに転送することはできません。

BirdsEye Select Raster 製品では、イメージを制限付きでダウンロードできるクレジットが提供されます。1 クレジットあたり、1 平方キロメートル分のイメージをダウンロードできます。クレジットを使用してダウンロードしたイメージには有効期限がないため、デバイスの耐用期間中クレジットと関連付けられたデバイスにイメージを転送できます。付属しているクレジット数

は、製品により異なります。すべてのクレジットは、製品ページに記載されている期間内に使用する必要があります。クレジットを使用してダウンロードしたイメージは、1 台のデバイスのみと関連付けられ、デバイスやコンピュータから削除された場合には復元できません。

### BirdsEye 製品

BirdsEye 製品は、複数ご用意しています。

**BirdsEye Satellite Imagery:** 世界中の詳細な衛星イメージを提供します。無制限にイメージをダウンロードできる 1 年間のサブスクリプション製品です。

**BirdsEye Select Raster:** 地形の等高線およびジャンル別施設を含むラスターベースの地図を提供します。イメージは、ヨーロッパ内の複数の地域で利用可能です。イメージを制限付きでダウンロードできるクレジットが提供されます。

**BirdsEye TOPO Raster:** 米地質調査所 (USGS) および米国学術研究会議 (NRC) からのラスターベースの地形情報を提供します。イメージは、米国およびカナダで利用可能です。無制限にイメージをダウンロードできる 1 年間のサブスクリプション製品です。

### BaseCamp を使用して BirdsEye 製品を有効化する

BaseCamp アプリケーションを使用して BirdsEye 製品を有効化する前に、デバイスを Garmin Express™ ([www.garmin.com/express](http://www.garmin.com/express)) で登録する必要があります。

BirdsEye 製品を購入後、製品を有効化して、サブスクリプションまたはクレジットをデバイスと関連付けてください。BaseCamp アプリケーションを使用して、製品を有効化できます。

注：デバイスに BirdsEye サブスクリプションが付属している場合は、サブスクリプションはデバイスに既に関連付けられているため、有効化する必要はありません。

- 1 [www.garmin.com/basecamp](http://www.garmin.com/basecamp) にアクセスし、BaseCamp アプリケーションをダウンロードしてインストールします。

注：BaseCamp アプリケーションがすでにインストールされている場合は、最新バージョンに更新する必要があります。

- 2 BaseCamp アプリケーションを起動し、デバイスをコンピュータに接続します。

ライブラリおよびデバイス領域にデバイス名が表示されます。

- 3 BirdsEye > BirdsEye イメージをダウンロードを選択します。

- 4 ドロップダウンリストから、サブスクリプションまたはクレジットと関連付けるデバイスを選択して、続行を選択します。

注：BirdsEye 製品と関連付けられるのは、1 台のデバイスのみです。デバイスを関連付けると、サブスクリプションまたはクレジットを他のデバイスに移行できません。複数のデバイスで BirdsEye 製品を使用できるのは、追加のサブスクリプションまたはクレジットを購入した場合のみです。

- 5 次のの中からオプションを選択します。

- サブスクリプションを有効化するには、サブスクリプションの場所を確認を選択します。
- クレジットを有効化するには、クレジットの場所を確認を選択します。

- 6 Garmin アカウントのログイン資格情報を入力して、続行を選択します。

- 7 有効化する BirdsEye 製品を選択して、有効化を選択します。

注：最近購入した BirdsEye 製品が表示されます。ドロップダウンリストから別の製品を選択しなければならないこともあります。

BirdsEye 製品が有効化され、サブスクリプションまたはクレジットがデバイスに関連付けられます。有効化が完了すると、BirdsEye イメージをダウンロードできます。



## Mac コンピュータに BirdsEye イメージをダウンロードする

BirdsEye イメージをダウンロードおよび使用する前に、デバイスにアクティブなサブスクリプションまたはクレジットが必要です。

BirdsEye イメージを Mac コンピュータおよび互換性のある Garmin デバイスにダウンロードできます。

- 1 BaseCamp アプリケーションを起動し、デバイスをコンピュータに接続します。

デバイスが BaseCamp [ デバイス ] リストに表示されます。

注：デバイスがロードされるのを待ちます。

- 2 マイコレクションまたはダウンロードしたイメージファイルを追加できるリストを選択します。
- 3 BirdsEye > BirdsEye イメージをダウンロードを選択します。
- 4 ドロップダウンリストから、デバイスを選択します。
- 5 イメージファイルのダウンロード直後に、デバイスにイメージファイルをコピーするには、**ダウンロード後にイメージをデバイスにコピー**を選択します ( オプション )。
- 6 **続行**を選択します。
- 7 BirdsEye イメージ製品を選択します。

選択された製品のアクティブなサブスクリプションがデバイスにある場合は、サブスクリプションを確認するメッセージが表示されます。

サブスクリプションがデバイスにない場合は、一部の製品の限定的なプレビューイメージをダウンロードすることができます。プレビューイメージは評価目的でのみ提供されます。プレビューは一度に 1 つ保存できます。異なるプレビューをダウンロードすると、既に保存されているプレビューが自動的に上書きされます。

- 8 オプションを選択し、イメージをダウンロードする地図の範囲を定義します。
  - 四角形のエリアを選択するには、**四角形を選択**を選択してドラッグし、地図上に四角形を描画します。
  - 自由な形のエリアを選択するには、**形状を選択**を選択し、地図上に形状を作成します。  
地図上のポイントを選択して形状の角を決定するか、ドラッグして形状の辺を描画します。

選択された製品にクレジットが必要な場合は、選択されたエリアのクレジットのコストが表示されます。

- 9 ドロップダウンリストからイメージ品質オプションを選択します ( オプション )。

選択したイメージ品質の推定ファイルサイズが表示されます。イメージをデバイスにコピーする場合、デバイスにイメージファイルを保存するための十分な空き容量があることを確認する必要があります。使用可能なストレージ容量を超過した場合は、イメージ品質を下げるか、領域のサイズを小さくすることができます。

- 10 **確認**を選択します。

- 11 選択された製品にクレジットが必要な場合は、Garmin アカウントの資格情報を入力してクレジットの支払を確認します。

- 12 ダウンロードしたイメージファイルの名前を入力します ( オプション )。

イメージファイルの転送が有効化されている場合、その処理が開始されます。

## ダウンロードした BirdsEye イメージをデバイスに送信する

BirdsEye イメージをデバイスに送信するには、その前にイメージをコンピュータにダウンロードする必要があり、デバイスにイメージファイル用の十分な空き領域が必要になります。

そのタイプのイメージのアクティブなサブスクリプションがあり、さらに互換性もある Garmin デバイスには、ダウンロードした BirdsEye イメージファイルを送信できます。クレジットを

使用してダウンロードしたイメージファイルは、クレジットを有効化してダウンロードしたデバイスにのみ送信できます。

- 1 デバイスをコンピュータに接続します。  
デバイスが [ デバイス ] リストに表示されます。
- 2 ダウンロードしたイメージファイルを右クリックして、**送信先**を選択します。
- 3 デバイスでフォルダを選択して、**OK**を選択します。  
進捗バーは、データ転送の進捗状況を示します。

## サブスクリプションの有効期限が切れた後にダウンロードした BirdsEye イメージ

サブスクリプション製品の場合、デバイスのサブスクリプションの有効期間が切れると、それ以降、ダウンロードしたイメージをデバイスに転送できなくなります。デバイスに保存されたイメージは、デバイスからイメージを削除しない限り引き続き利用することができます。イメージをコンピュータにダウンロードした場合、BaseCamp アプリケーションを使用して、その後もイメージを表示できますが、そのタイプのイメージのアクティブなサブスクリプションがあるデバイスにのみイメージを転送できます。

クレジットを使用してダウンロードしたイメージには有効期限がないため、デバイスの耐用期間中クレジットに関連付けられたデバイスにイメージを転送できます。

## BirdsEye イメージを削除する

### 注記

削除した BirdsEye イメージは復元できません。

- クレジットを使用してダウンロードしたイメージを削除し、このイメージを再びダウンロードする場合は、追加のクレジットを使う必要があります。
- サブスクリプションベースのイメージをデバイスから削除すると、デバイスのサブスクリプションの有効期間が切れた後は、デバイスにそのイメージを転送できなくなります。

BaseCamp アプリケーションを使用して、デバイスまたはコンピュータから BirdsEye イメージを削除できます。

削除するイメージを右クリックして、**削除**を選択します。

イメージが選択した場所から削除されます。コンピュータからイメージを削除しても、デバイスからは削除されません。

## Garmin カスタム地図

Garmin カスタム地図では、衛星写真、公園地図、その他の情報などをオーバーレイとして地図上に表示できます。

Garmin カスタム地図は、Garmin カスタム地図フォーラムまたはその他の Web サイトからダウンロードできます。また、独自の Garmin カスタム地図を作成することもできます。詳細については、[garmin.com/custommaps](https://garmin.com/custommaps) を参照してください。

## Garmin カスタム地図をインポートする

KML オーバーレイおよび KMZ オーバーレイアーカイブなどの Garmin カスタム地図をインポートできます。また、Garmin カスタム地図を、サポートされている Garmin デバイスに送信することもできます。

- 1 カスタム地図ファイルをコンピュータにダウンロードします。
- 2 保存する地図ファイルの場所を選択します (**保存するデータファイルの場所を選択する**, 14 ページ)。
- 3 **ファイル > [Name]**にインポートを選択します。
- 4 カスタム地図ファイルを選択し、**インポート**を選択します。  
カスタム地図がオーバーレイとして保存されます。

## オーバーレイを表示する

- 1 オーバーレイを選択します。
- 2 **表示 > 選択したデータを地図に表示**を選択して、地図をオーバーレイの中央に配置します。

- 3 オーバーレイがアウトラインとして表示され、イメージが表示されない場合は、表示 > オーバーレイを表示 (Garmin カスタム地図および BirdsEye イメージ) を選択します。

## オーバーレイを非表示にする

BirdsEye イメージ、Garmin カスタム地図、およびその他のオーバーレイの詳細を非表示にして、地図上にアウトラインのみが表示されるようにすることができます。

表示 > オーバーレイを隠す (Garmin カスタム地図および BirdsEye イメージ) を選択します。

## オーバーレイの描画の順序を変更する

BirdsEye イメージ、Garmin カスタム地図、およびその他のオーバーレイに描画の順序を設定して、地図上でオーバーレイを相互にどのように重ねて配置するかを変更できます。

注：この機能を利用できないオーバーレイもあります。

- 1 オーバーレイをダブルクリックします。
- 2 スライダバーを使用して、描画の順序を調整します。  
描画の順序設定が高いオーバーレイは、描画の順序設定が低いオーバーレイの上に表示されます。

## 検索ツールバー

検索ツールバーを使用すると、場所を検索できます。ユーザーデータ、地図データ、およびオンラインソースの検索が可能です。

### 基本検索を実行する

デフォルトでは、検索バーには、地図の中央に最も近い位置から検索結果が表示されます。

- 1 検索する位置を選択します。
- 2 検索ツールバーでは、ジャンル別施設の名前、住所、または検索するユーザーデータを入力して、キーボードで **return** キーを押します。

### 詳細検索を実行する

- 1 検索 > オプションを検索を選択します。
- 2 語句を入力します。
- 3 検索の [タイプ] を選択します。
- 4 その他のオプションを選択して、検索結果を絞り込みます (必要な場合)。
- 5 検索を選択します。

### 検索メニュー

検索メニューは、検索ツールバーと連携して、項目をすばやく見つけるのに役立ちます。検索メニューを使用して、地図上の座標を検索することもできます。

### 検索から場所を保存する

- 1 位置を検索します (詳細検索を実行する, 6 ページ)。
- 2 検索結果から場所を選択します。  
地図上に場所情報が表示されます。
- 3 リストを選択するか、マイコレクションを選択します。
- 4 次のの中からオプションを選択します。
  - ・ 検索結果からアイテムをリストにドラッグします。
  - ・ 地図上の場所情報から **P** を選択します。

## ウェイポイント

ウェイポイントとは、デバイスに記録して保存した場所です。ウェイポイントでは、今いる場所、これから行く場所、今までいた場所を登録することができます。名前、高度、深度など、場所に関する詳細情報を追加できます。

## 地図上でウェイポイントを登録する

地図上の任意のポイントをウェイポイントとして登録できます。ウェイポイントは自動的に保存されます。

- 1 保存するウェイポイントの場所を選択します (保存するデータファイルの場所を選択する, 14 ページ)。
- 2 ツール > ウェイポイントを選択します。
- 3 ウェイポイントを登録する地図上の場所を選択します。  
ウェイポイントが保存されます。

## ウェイポイントを移動する

- 1 ウェイポイントを選択します。  
注：地図がウェイポイントの中央に配置されていない場合、ウェイポイントを右クリックして地図に表示を選択します。
- 2 ツール > ハンドを選択します。
- 3 ウェイポイントを新しい場所にドラッグします。  
ヒント：また、ウェイポイントのプロパティで座標を変更して、ウェイポイントを移動することもできます (ウェイポイントプロパティを編集する, 6 ページ)。

## ウェイポイントプロパティを編集する


名前、座標、記号など、ウェイポイントのプロパティを変更できます。また、複数のウェイポイントのプロパティをバッチで変更することもできます。ウェイポイントプロパティへの変更は自動的に保存されます。

- 1 次のの中からオプションを選択します。
  - ・ 単一のウェイポイントを編集するには、ウェイポイントをダブルクリックします。
  - ・ 複数のウェイポイントを編集するには、複数のウェイポイントを選択して (複数のアイテムを選択する, 14 ページ)、キーボードの **⌘+I** を押します。
- 2 一般を選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
  - ・ ウェイポイント名を編集するには、名前を選択して名前を入力します。
  - ・ ウェイポイントにコメントを追加するには、コメントを選択してコメントを入力します。
  - ・ ウェイポイントに関連付けられた記号を変更するには、ウェイポイント記号の横にある **選択** を選択し、別の記号を選択します。
- 4 詳細を選択します。
- 5 次のの中からオプションを選択します。
  - ・ ウェイポイントの座標を編集するには、位置を選択して新しい座標を入力します。
  - ・ ウェイポイントに近接アラート範囲を追加するには、近接を選択して距離を入力します。
  - ・ ウェイポイントの高度を編集するには、高度を選択して高度を入力します。
  - ・ 地図上でのウェイポイントの表示方法をカスタマイズするには、表示ドロップダウンメニューから値を選択します。
- 6 連絡先を選択し、ウェイポイントの連絡先情報を入力します。

## ジオキャッシング

ジオキャッシングとは、参加者がキャッシングを隠したり、隠されたキャッシングを探したりするアクティビティのことです。ジオキャッシングには、キャッシングの座標、ヒント、ログ、およびその他の情報が含まれています。geocaching.com にアクセスして、ジオキャッシングをダウンロードします。

BaseCamp アプリケーションでは、ジオキャッシングの検索または作成を実行できません。接続した Garmin デバイスからジオキャッシングを転送するか、geocaching.com からダウンロードしたジオキャッシングファイルをインポートする必要があります。

 は、ライブラリおよびデバイス領域と地図上でジオキャッシュを示します。

## 接続した Garmin デバイスからジオキャッシュをインポートする

マイコレクションにジオキャッシュをインポートするには、その前に、Garmin GPS デバイスにジオキャッシュをロードする必要があります。

- 1 ジオキャッシュデータがある Garmin GPS デバイスをコンピュータに接続します。
- 2 ジオキャッシュデータをデバイスから転送します (接続されているデバイスからデータを転送する, 14 ページ)。

## ジオキャッシュファイルをインポートする

- 1 [geocaching.com](https://geocaching.com) にアクセスします。
- 2 1 つ以上のジオキャッシュファイルをコンピュータにダウンロードします。
- 3 ジオキャッシュファイルの場所を選択します (保存するデータファイルの場所を選択する, 14 ページ)。
- 4 ファイル > '[Name]' にインポートを選択します。
- 5 ダウンロードしたジオキャッシュファイルを選択して、インポートを選択します。



## ジオキャッシュを検索する

ジオキャッシュを検索するには、その前に、ジオキャッシュを [geocaching.com](https://geocaching.com) からダウンロードして、BaseCamp アプリケーションにインポートする必要があります。

- 1 ジオキャッシュを検索します (詳細検索を実行する, 6 ページ)。
- 2 ジオキャッシュを選択します。  
ジオキャッシュを示す情報バルーンが地図上に表示されます。

## ジオキャッシュに発見済みのマークを付ける

ジオキャッシュにマークを付けて、検出済みのジオキャッシュを記録することができます。デバイスでジオキャッシュに発見済みのマークを付けると、次回そのデバイスを接続したときに、BaseCamp アプリケーションでジオキャッシュが更新されます。

- 1 ジオキャッシュをダブルクリックします。
- 2  を選択します。  
ジオキャッシュアイコンが  に変わります。

## ヒントとログを表示する

ジオキャッシュヒントにはジオキャッシュ作成者によるヒントが含まれている場合があります。ジオキャッシュを見つけるのに役立つ追加情報を得られます。ジオキャッシュログにはこれまでにジオキャッシュを検索した人のコメントが含まれている場合があります。

- 1 ジオキャッシュをダブルクリックします。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
  - ヒントを表示するには、[ヒントを表示](#)を選択します。
  - ログを表示するには、[ログ](#)を選択します。

## ジオキャッシュの Web ページを表示する

ジオキャッシュが最初に投稿された Web ページを表示できます。

- 1 ジオキャッシュをダブルクリックします。
- 2 ジオキャッシュ ID を選択します。  
デフォルトの Web ブラウザが開いて、ジオキャッシュ ID と関連付けられたページが表示されます。

## 地図上に表示されたジオキャッシュ情報を変更する

- 1 ジオキャッシュをダブルクリックします。
- 2 記号のみを表示するオプション、記号と名前を表示するオプション、または記号とジオキャッシュに関連付けられた ID コードを表示するオプションを、ドロップダウンリストから選択します。

## ルート、トリップ、トラック、アドベンチャー

BaseCamp アプリケーションは、ルート、トリップ、トラック、アドベンチャーを使用して目的地を表示し、目的地を計画するのに役立ちます。

- ルートは、最終的な目的地に至る一連のウェイポイントまたは場所です ([ルート](#), 7 ページ)。
- トリップとは、出発地、目的地、到着時刻と出発時刻、および毎日の旅行に費やす時間を含む旅程のことです ([トリッププランナー](#), 8 ページ)。
- トラックとは、バスの記録です。トラックログには、各ポイントの時刻、場所、高度など、記録されたバスに沿ったポイントの情報が含まれています ([トラック](#), 9 ページ)。
- アドベンチャーとは、トラックログ、ウェイポイント、画像、旅行を説明するビデオなどのアイテムのグループです ([Garmin アドベンチャー](#), 11 ページ)。

## ルート

ルートは、最終的な目的地に至る一連のウェイポイントまたは場所です。

## ルートの作成

注：選択した地図製品は、ルートの作成方法に影響を与えます。例えば、運転ルートを作成する場合、道路と場所のより詳細な情報が含まれる地図を選択する必要があります ([地図を選択する](#), 2 ページ)。

また、選択したアクティビティもルートの作成方法に影響を与えます。選択した地図製品の種類に適したアクティビティを選択する必要があります ([アクティビティを選択する](#), 2 ページ)。

## シンプルルートを作成する

2 つのポイント間でシンプルルートを作成できます。

- 1 保存済みのルートの場所を選択します (保存するデータファイルの場所を選択する, 14 ページ)。
- 2 [編集 > ルートを作成](#)を選択します。
- 3 必要に応じて、地図製品を選択します。
- 4 必要に応じて、アクティビティを変更します。
- 5 アイテムを始点をここにドラッグしますボックスまでドラッグします。
- 6 アイテムを目的地をここにドラッグしますボックスまでドラッグします。

ルートは地図上に色付きの線で表示されます。

## ウェイポイントを使用してルートを作成する

保存したウェイポイントを使用してルートを作成できます。

- 1 必要に応じて、地図製品を選択します。
- 2 必要に応じて、アクティビティを変更します。
- 3 ルートで使用する複数のウェイポイントを選択します ([複数のアイテムを選択する](#), 14 ページ)。
- 4 選択したウェイポイントを右クリックし、[ウェイポイントからルートを作成](#)を選択します。  
ルートは地図上に色付きの線で表示されます。
- 5 ルートの名前を入力します (オプション)。



## 地図上でルートを作成する

地図上のポイントを選択するか、地図にルートを描画して、ルートを作成できます。

- 1 必要に応じて、地図製品を選択します。
- 2 必要に応じて、アクティビティを変更します。
- 3 保存済みのルートの場所を選択します (**保存するデータファイルの場所を選択する**, 14 ページ)。
- 4 ツール > ルートを選択します。
- 5 必要に応じて、新しいルートのウィンドウを閉じます。
- 6 ルートの始点を選択します。
- 7 ルートに追加するポイントを選択します。
- 8 右クリックしてルートを保存します。  
ヒント：また、キーボードの esc キーを押してもルートを保存できます。  
ルートは地図上に色付きの線で表示されます。

## トラックに基づいてルートを作成する

トラックに基づいてルートを作成できます。ルートオプションをトラックに適用する必要がある場合、またはトラック非対応のデバイスでトラックを使用する場合に、この方法が役立つことがあります。

- 1 必要に応じて、地図製品を選択します。
- 2 必要に応じて、アクティビティを変更します。
- 3 トラックを選択します。
- 4 **編集 > トラックからルートを作成 > OK** を選択します。  
新しいルートがトラックの横に表示されます。

## ルート名を変更する

- 1 ルートをダブルクリックします。
- 2 ルートプロパティウィンドウで、**自動名前設定**チェックボックスをオフにします。
- 3 新しい名前を入力します。

## ルート情報を編集する

- 1 ルートをダブルクリックします。
- 2 ルートプロパティウィンドウで、**情報**を選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
  - ルートにメモを追加するには、**メモフィールド**にテキストを入力します。
  - ルートの色を変更するには、**色リスト**から色を選択します。
  - ファイルをルートにリンクするには、**ファイル**を選択し、コンピュータからファイルを選択します。

## ルートのアクティビティを変更する

- 1 ルートをダブルクリックします。
- 2 ルートのプロパティウィンドウで、**アクティビティ**を選択します。
- 3 ルート全体に適用するアクティビティを選択します。  
注：残りのルートに関連付けられているアクティビティを変更せずに、ルート上のポイントのアクティビティを変更できます。(ルート内のポイントを編集する, 8 ページ)。
- 4 **C** を選択し、新しいアクティビティを使用してルートを再計算します。

## ルート内のポイントを編集する

ルートのポイントの追加、削除、並び替え、スケジュールを行うことができます。

- 1 ルートをダブルクリックします。
- 2 次のの中からオプションを選択します。

- ポイントを追加するには、ウェイポイント、ルート、トラック、または検索した場所をポイントのリストにドラッグします。
  - ポイントを削除するには、ポイントをクリックし、**削除**を選択します。
  - リストでポイントを異なる位置に移動するには、ポイントを新しい位置にドラッグします。
  - ルートでポイントの位置を1つ上に移動するには、ポイントをクリックし、**上に移動**を選択します。
  - ルートでポイントの位置を1つ下に移動するには、ポイントをクリックし、**下に移動**を選択します。
  - ルートの順序を逆にするには、**C > ルートの反転**を選択します。
  - ポイントの到着、出発、および乗り継ぎ時刻をスケジュールするには、そのポイントを選択し、**時刻**を選択します。
  - ポイントに関連付けられているアクティビティタイプを変更するには、ポイントを選択し、アクティビティアイコンを選択します。
- 3 ルートを再計算するには、**C** を選択します。

## 地図上でルートポイントを編集する

地図上のルートにポイントを追加または移動できます。道路でない場所にポイントを追加または移動する場合は、道路を使用したルート計算は行われません。

- 1 地図上にルートを表示した状態で、**ツール 選択**を選択します。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
  - ルートの一区間を新しい場所にドラッグします。新しいポイントが自動的にルートに追加されます。
  - キーボードの **option** キーを押しながら、ポイントを新しい場所にドラッグします。

## ルート方向指示を表示する

ルートの進路方向指示を表示できます。

- 1 ルートをダブルクリックします。
- 2 ルートのプロパティウィンドウで、**方向**を選択します。  
ウィンドウ内のポイントが進路方向指示に置き換えられます。
- 3 **選択アイテム**を中心にチェックボックスをオンにし、リストからアイテムを選択して地図に表示します。

## トリッププランナー

BaseCamp アプリケーションでは、旅程を詳細に計画できます。ナビゲーションのために、旅程を GPS デバイスにアップロードできます。

## 新しいトリップを作成する

住所の情報を使用してトリップを作成するには、住所の情報が含まれている地図が必要です。

出発地、目的地、運転に割り当てる毎日の時間数を基にしてトリップを自動的に計算できます。

- 1 **トリッププランナー > 新しいトリップ**を選択します。
- 2 **新規**を選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
  - トリップの日数を選択します。
  - トリップの日数がわかっている場合は、チェックボックスをオンにし、トリップの出発日と帰着日を選択します。
- 4 1 日あたりの最大移動時間を選択します。
- 5 往復トリップである場合は、チェックボックスをオンにします。
- 6 **開始**を選択します。
- 7 移動手段を選択します。



- 8 出発地と目的地を入力します。
- 9 移動手段が**フライング**である場合は、オプションを選択します。
  - **便名**を選択して、航空会社名、往路と復路の便名、乗り継ぎ便を入力します。
  - **空港**を選択して、空港名を入力します。
- 10 **トリップの作成**を選択します。

## トリップと拠点

トリップを作成すると、トリップの詳細が BaseCamp ウィンドウの左側に表示されます。トリップは拠点ごとに整理されます。各拠点は、出発地点で始まり、到着地点で終わります。拠点はトリップの作成時に入力した情報に基づいて自動的に作成されます。トリップ中にその他の場所を訪ねる予定がある場合は、トリップに新たに拠点を追加することができます。



トリップの各拠点には、拠点の出発地点から到着地点までの間で、移動の日数、出発時刻や到着時刻など、旅行の詳細な情報が含まれます。各拠点では、ジャンル別施設を検索したり、ルートに沿って経由地を追加したりできます。

**注：** 拠点に表示される出発時刻と到着時刻は、ローカルのタイムゾーンに基づく、その場所の実際の時刻を反映します。

## トリップ表示を変更する

トリップ表示を変更して、トリップの拠点に関する詳細情報を表示または非表示にすることができます。

トリップの表示中にオプションを選択します。

- 拠点の詳細を非表示にするには、を選択します。
- 拠点の詳細を表示するには、を選択します。

## トリップを編集する

トリップを編集するには、コンピュータまたはデバイスに少なくとも1つのトリップを保存する必要があります。

拠点的追加、日数の追加や削除、到着時刻と出発時刻の変更、移動時に訪れるジャンル別施設の追加などを行って、トリップを編集することができます。トリップで行った変更は自動的に保存されます。

- 1 **トリッププランナー > 最近のトリップを開く**を選択します。
- 2 **トリップ**を選択します。
- 3 **開く**を選択します。
- 4 トリップまたは拠点の情報を編集します (**拠点を編集する**, 9 ページ)。
- 5 **終了する**を選択します。

## トリップ名と拠点名を編集する

トリップを表示する場合は、次のいずれかのオプションを選択します。

- トリップの名前を変更するには、名前を選択して新しい名前を入力します。
- 拠点の名前を変更するには、名前を選択して新しい名前を入力します。

## 拠点をトリップに追加する

トリップ中にその他の場所を訪ねる予定がある場合は、それぞれの場所に拠点を追加できます。

- 1 トリップを表示しているときに、**拠点を追加**を選択します。
- 2 位置情報を検索します。
- 3 検索結果から、位置を選択します。
- 4 **トリップに追加**を選択します。

この新しい拠点はトリップの末尾に追加されます。

## 拠点到ジャンル別施設を追加する

拠点で出発地点から到着地点まで移動する間に、経由地を追加する予定がある場合は、ルートに沿って経由地を検索できます。

- 1 トリップを表示しているときに、拠点を

- 2 **ジャンル別施設の追加**スライダバーを使用して、ルート上の場所を選択します。  
選択した場所の位置マーカーが、地図でルート上に表示されます。
- 3 このルートに沿って**検索**チェックボックスをオンにします。
- 4 位置情報を検索します。
- 5 検索結果から、位置を選択します。  
拠点到ジャンル別施設がルートに追加されます。

**注：** 拠点到追加するジャンル別施設ごとに、デフォルトで30分の休憩が追加されます。拠点では出発時刻、到着時刻、休憩時間を変更できます (**拠点を編集する**, 9 ページ)。

## 拠点を編集する

拠点のために、トリップの詳細を編集できます。

**注：** 拠点に表示される出発時刻と到着時刻は、ローカルのタイムゾーンに基づく、その場所の実際の時刻を反映します。

- 拠点の出発時刻を変更するには、出発地点を選択して、時刻を選択します。
- 拠点の到着時刻を変更するには、到着地点を選択して、時刻を選択します。
- 拠点の移動手段を変更するには、出発地点を選択して、移動手段のアイコンを選択します。

**注：** 他の拠点を追加して、各拠点で移動手段を変更することで、トリップに複数の移動手段を追加できます。

- 拠点到1日を追加するには、拠点名の横にある **+** を選択します。
- 拠点到から1日を削除するには、特定の日付を右クリックして**日を削除**を選択します。
- 日程、出発地点、到着地点、終了地点の順序を変更するには、アイテムをトリップ内の任意の位置にドラッグします。

## デバイスにトリップを送信する

互換性のある Garmin デバイスにトリップをアップロードする前に、少なくとも1つのトリップをコンピュータに保存する必要があります。

- 1 デバイスをコンピュータに接続します。
- 2 **トリッププランナー > 最近のトリップを開く**を選択します。
- 3 **トリップ**を選択します。
- 4 **転送 > [Name]をデバイスに送信**を選択します。
- 5 デバイスを選択し、送信するアイテムのチェックボックスをオンにします。
- 6 **送信**を選択します。

## トラック

トラックとは、バスの記録です。トラックログには、各ポイントの時刻、場所、高度など、記録されたバスに沿ったポイントの情報が含まれています。

## トラックポイントおよび統計を表示する

個々のトラックポイント、ある範囲のトラック、またはトラック全体の統計および概要データを表示できます。多くのデータフィールドは、Garmin GPS デバイスで記録されたトラックでのみ利用可能です。

- 1 **トラック**をダブルクリックします。  
トラックのプロパティウィンドウにトラック内の各ポイントの統計が表示されます。
- 2 キーボードの **shift** キーを押しながら、ポイントの範囲を選択し、それらのポイントの統計を表示します。

## トラックの編集

トラック全体の情報、またはトラック上の各ポイントの情報を編集できます。デバイスでまだアクティブなトラックは編集できません。

### 基本的なトラックプロパティを編集する


トラックの名前や色を変更することができます。

- 1 トラックをダブルクリックします。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - トラックの名前を変更するには、**名前**を選択し、新しい名前を入力します。
  - トラックの色を変更するには、ドロップダウンリストから色を選択します。

### 高度なトラックプロパティを編集する


トラックの高度情報を編集するには、あらかじめ、高度データを含む地図を使用している必要があります ([地図を選択する, 2 ページ](#))。

トラック全体のプロパティを編集できます。

- 1 トラックをダブルクリックします。
- 2 を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - トラック内のすべてのポイントの高度情報を地図の高度情報に置き換えるには、**トラックを地図高度に設定**を選択します。  
地図の高度データの方が GPS 高度データよりも正確な場合があります。
  - トラックポイントの順序を逆にするには、**トラックの反転**を選択します。
  - トラックを地図の中央にするには、**地図に表示**を選択します。


### トラックポイントを編集する

トラックの高度情報を編集するには、あらかじめ、高度データを含む地図を使用している必要があります ([地図を選択する, 2 ページ](#))。

- 1 トラックをダブルクリックします。
- 2 ポイントまたはポイントの範囲を選択します ([複数のアイテムを選択する, 14 ページ](#))。
- 3 を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
  - ポイントまたはポイントの範囲をトラックから削除するには、**選択したポイントの削除**を選択します。
  - 選択したポイントでトラックを分割するには、**選択したポイントで分割**を選択します。  
選択したポイントの下に表示されるポイントは、現在のトラックから削除されて新しいトラックとして保存されます。選択したポイントは両方のトラックに含まれます。
  - ポイントまたはポイントの範囲の高度情報を地図の高度情報に置き換えるには、**ポイントを地図高度に設定**を選択します。  
地図の高度データの方が GPS 高度データよりも正確な場合があります。

### トラックポイントをフィルタリングする

トラックのポイントをフィルタリングして、不要なポイントを削除し、トラックを簡素化することができます。

- 1 トラックをダブルクリックします。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ポイントを選択します。
  - キーボードの **shift** キーを押しながら、ポイントの範囲を選択します。
- 3  > **トラックをフィルタリング**を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。

- トラック全体をフィルタリングするには、**トラック全体**を選択します。
  - 選択したポイント範囲のみをフィルタリングするには、**選択したトラックポイント数**を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
    - ポイント間の最短時間を設定するには、**時刻**を選択し、時間を入力します。
    - ポイント間の最短距離を設定するには、**距離**を選択し、距離を入力します。
    - BaseCamp アプリケーションで自動的にポイント数を調整できるようにするには、**自動**を選択して、スライダバーを使用します。
    - 均等な間隔のポイントの最大数を使用するには、**最大ポイント数**を選択し、数値を入力します。
  - 6 **元のトラックを保存**を選択し、フィルタリングされていない元のトラックを保存します (オプション)。  
注: 元のトラックを保存しない場合、削除したポイントは元のトラックから完全に削除されます。
  - 7 **OK** を選択します。

ポイントは、フィルタリング条件に基づいてトラックから削除されます。





### 地図上でトラックポイントを編集する

地図上のトラックにポイントを追加または移動できます。

- 1 トラックをダブルクリックします。
- 2 ツール > **選択**を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - トラックの一区間を新しい場所にドラッグします。新しいポイントが自動的にトラックに追加されます。
  - キーボードの **option** キーを押しながら、ポイントを新しい場所にドラッグします。


### トラックを結合する

複数のトラックを 1 つのトラックに結合することができます。

- 1 1 つ以上のトラックを選択します ([複数のアイテムを選択する, 14 ページ](#))。
- 2 **編集 > トラックの結合**を選択します。
- 3 トラックを選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
  -  を選択して、トラックをリスト内で下に移動します。
  -  を選択して、トラックをリスト内で上に移動します。
  -  を選択して、トラックの向きを反対にします。
  -  を選択して、トラックをリストから削除します。
- 5 **トラックの結合**を選択します。  
トラックを結合することによって新しいトラックが作成されます。

### ルートからトラックを作成する

保存したルートからトラックを作成できます。ルートナビゲーションをサポートしていない Garmin デバイスを使用してトラックのナビゲーションを実行することができます。

- 1 ルートをダブルクリックします。
- 2  > **トラックの作成**を選択します。

### 地図上でトラックを作成する

地図上でトラックを作成するにはポイントを選択するか、地図上に描画するか、またはこれら 2 つを組み合わせ使用します。

- 1 保存されるトラックの場所を選択します ([保存するデータファイルの場所を選択する, 14 ページ](#))。
- 2 ツール > **トラック**を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ポイント間にまっすぐなトラック区間を作成するには、地図上の複数のポイントを選択します。
- トラック区分を描画するには、ポイントを選択して、次のポイントにドラッグします。

4 手順3を繰り返して、区間を追加します。

5 右クリックしてトラックを保存します。

ヒント：キーボードの **esc** キーを押して、トラックを保存することもできます。

トラックがグレイの線で地図に表示されます。

## グラフとシミュレーション


さまざまなアイテムからデータのグラフを表示できます。

ルートやトラックを再生して、ナビゲーションをシミュレートできます。

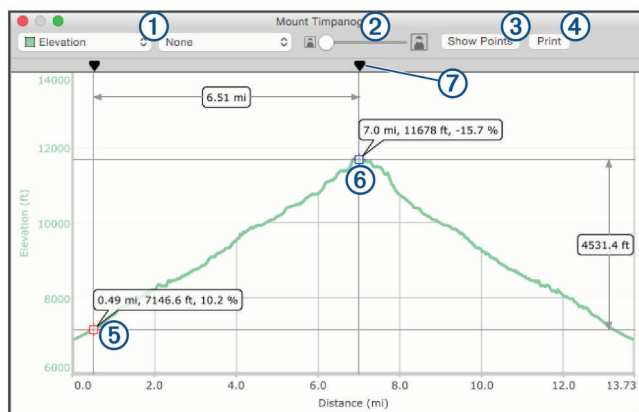
### グラフを表示する

記録されている情報を基にして、ルート、トラック、またはアドベンチャー内に情報を示すグラフを表示できます。

1 ルート、トラック、またはアドベンチャーをダブルクリックします。

2  を選択します。

### グラフ



①	グラフに表示されるデータのタイプを選択します。
②	グラフをズームインまたはズームアウトします。
③	グラフ上の写真の表示と非表示を切り替えます。
④	グラフを印刷します。
⑤	比較のために選択した最初の場所を示します。グラフ上で位置マーカを選択すると場所情報が表示され、地図上のその場所が橙色で強調表示されます。
⑥	比較のために選択した2番目の場所を示します。グラフ上で2番目の位置マーカを選択すると比較情報が表示され、地図上の2つの場所の間が橙色で強調表示されます。
⑦	選択したポイントを移動します。

### ルートまたはトラックシミュレーションを再生する

ルートやトラックを動かして、ナビゲーションをシミュレートできます。

1 ルートまたはトラックをダブルクリックします。

2  を選択します。

3 ルートの再生またはトラックの再生を選択します。

再生コントロールウィンドウが表示され、シミュレーションが開始されます。①に、地図上のシミュレーションの現在の位置が表示されます。

### ルートまたはトラックシミュレーションを制御する

シミュレーションの動作または速度を調整するには、まずシミュレーションを再生する必要があります。

- シミュレーションの再生中にシミュレーションを一時停止するには、**一時停止**を選択します。
- シミュレーションの一時停止中にシミュレーションを再生するには、**再生**を選択します。
- ルートまたはトラックの最後に達したときにシミュレーションを停止するか繰り返すように設定するには、**ループ**を選択します。
- ルートまたはトラックに沿ってシミュレーションを前後に移動するには上部のスライダバーを使用します。  
注：①に、地図上のシミュレーションの現在の位置が表示されます。
- アニメーションの速度を調整するには、下部のスライダバーを使用します。
- アニメーションの速度を遅くするには、**遅く**を選択します。
- アニメーションの速度を早くするには、**速く**を選択します。
- 特定の再生速度に設定するには、**実速度のx倍**を選択して、値を入力します。  
値を1.0と入力すると、ルートやトラックが実際の速度で再生されます。

## Garmin アドベンチャー

関連するアイテムをアドベンチャーとしてグループ化できます。例えば、最新のハイキングのアドベンチャーを作成できます。アドベンチャーにはトリップのトラックログ、トリップの写真、見つけたジオキャッシュを含めることができます。BaseCampを使用して、アドベンチャーを作成して管理できます。

### アドベンチャーを作成する

アドベンチャーを作成するには、まず、デバイスからトラックを転送する必要があります。

- 1 **編集 > アドベンチャーの作成**を選択します。
- 2 トラックを選択し、**続行**を選択します。
- 3 注釈、写真、ビデオを **アドベンチャーアイテム**ウィンドウ内にドラッグして、それらをアドベンチャーに追加します。
- 4 **続行**を選択します。
- 5 タイトルを入力し、説明を追加して、アクティビティや難易度レベルを選択します。
- 6 **写真を選択**を選択して、アドベンチャーの新しいカバー写真を選択します。
- 7 アドベンチャーを並べ替えて整理できるようにタグを追加します (オプション)。
- 8 **続行**を選択します。  
アドベンチャーは [ マイコレクション ] の Garmin アドベンチャーセクションに保存されます。

### アドベンチャーを編集する

- 1 アドベンチャーをダブルクリックします。
- 2 **編集**を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - 注釈、写真、ビデオを [ アドベンチャーアイテム ] ウィンドウ内にドラッグして、それらをアドベンチャーに追加します。**アドベンチャーアイテム**
  - アドベンチャーの情報を編集します。
  - [ 写真を選択 ] を選択し、異なる写真を選択して、アドベンチャーのカバー写真を変更します。**写真を選択**
- 4 **完了**を選択します。



## アドベンチャーに写真を追加する

- 1 アドベンチャーをダブルクリックします。
- 2 **編集 > 写真を追加**を選択します。
- 3 コンピュータから写真を選択し、**開く**を選択します。
- 4 必要の場合は、地図上で写真の場所を選択します。

ヒント：写真にジオタグ情報が含まれている場合、その写真は、地図上のジオタグが指定された場所に自動的に配置されます。

- 5 **完了**を選択します。

## アドベンチャーにビデオを追加する

アドベンチャーにビデオを追加するには、まずビデオが YouTube™ ビデオコミュニティでホストされていなければなりません。


- 1 アドベンチャーをダブルクリックします。
- 2 **編集 > ビデオの追加**を選択します。
- 3 地図上でビデオを追加する場所を選択します。
- 4 ビデオの URL を入力します。
- 5 タイトルと説明 (オプション) を入力します。
- 6 **完了**を選択します。

## アドベンチャーに注釈を追加する

- 1 アドベンチャーをダブルクリックします。
- 2 **編集 > 注釈を作成**を選択します。
- 3 地図上で注釈を追加する場所を選択します。
- 4 タイトルと注釈のテキストを入力します。
- 5 **完了**を選択します。

## アドベンチャーを表示する

アドベンチャーを表示できるようにするには、まず、アドベンチャーを作成する必要があります ([アドベンチャーを作成する, 11 ページ](#))。

- 1 アドベンチャーをダブルクリックします。
- 2 次のの中からオプションを選択します。
  - 地図上のアドベンチャートラックの概要をアニメーションで表示するには、[再生] を選択します。**再生**
  - 写真またはビデオを表示するには、それを選択します。
  - 写真やビデオのプロパティを表示するには、**📄**を選択します。
  - アドベンチャートラックの速度または高度のグラフを表示するには、**📈**を選択します ([グラフ, 11 ページ](#)) .

## BaseStation ライブ追跡

BaseStation 機能を使用するには、互換性のあるデバイスが必要です。互換性のあるデバイスの詳細については、[garmin.com](#) を参照してください。

BaseStation を使用すると、GPS 付き首輪または他の互換性のある Garmin デバイスから位置データを受信する Garmin デバイスを接続したときに、地図上で犬や連絡先をリアルタイムでトラックできます。

## BaseStation で追跡する

BaseStation 機能を使用するには、互換性のある Garmin デバイス ([BaseStation ライブ追跡, 12 ページ](#))。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 デバイスで **セットアップ > システム > BaseCamp BaseStation > 確認**を選択します。  
詳細については、デバイスのマニュアルを参照してください。
- 3 デバイスをコンピュータに接続します。
- 4 デバイスで、他の BaseStation モードに切り替えるように求められたら、**はい**を選択します。

- 5 ライブラリおよびデバイス領域で、デバイス名の下にある BaseStation フォルダを選択します。
- 6 オプションを選択します (複数可)。
  - 地図上に連絡先を表示するには、**●**を選択します。
  - 地図上に犬を表示するには、**🐕**を選択します。

## BaseStation で追跡する

BaseStation を使用するには、互換性のある Garmin デバイス ([BaseStation ライブ追跡, 12 ページ](#))。

地図上で、犬、連絡先、および接続されている BaseStation デバイスの位置を追跡できます。追跡対象がすべて常に見えるようにするために、地図は自動的に回転および拡大 / 縮小します。

- 1 追跡する 1 つ以上の連絡先または犬を選択します ([複数のアイテムを選択する, 14 ページ](#))。
- 2 **📍**を選択します。
- 3 次のの中からオプションを選択します。
  - 選択した連絡先または犬のみを追跡するには、**選択した連絡先を追跡**を選択します。
  - 選択した連絡先と犬に加えて、コンピュータに接続されている BaseStation デバイスを追跡するには、**選択した連絡先と BaseStation を追跡**を選択します。
  - コンピュータに接続されている BaseStation デバイスのみを追跡するには、**BaseStation を追跡**を選択します。

## BaseStation からトラックを保存する

犬や連絡先が移動した経路をトラックとして保存することができます。

- 1 コンピュータから BaseStation デバイスを取り外します。
- 2 **はい**を選択して、マイコレクションにトラックを保存します。

## 写真にジオタグを付ける

ジオタグ付きの写真とは、地理的位置データを含む写真です。ジオタグ付きの写真は、BaseCamp アプリケーションで表示したり、サポートされているオンライン写真サービスにアップロードすることができます。

## インポートした写真にジオタグを付ける

写真ファイルをインポートするときに地理的位置情報を追加できます。

- 1 保存される写真の場所を選択します ([保存するデータファイルの場所を選択する, 14 ページ](#))。
- 2 **ファイル > '[Name]' にインポート**を選択します。
- 3 1 つ以上の写真を選択し、**インポート**を選択します。
- 4 **OK** を選択し、地図上の場所を選択します。  
ジオタグを付けた写真が地図上に表示されます。

## BaseCamp アプリケーションを使用して写真にジオタグを付ける

コンピュータから BaseCamp アプリケーションウィンドウにファイルをドラッグアンドドロップして写真に地理的位置情報を追加できます。

- 1 地図上で場所を選択し、ジオタグとして 1 つ以上の写真に追加します。
- 2 保存される写真の場所を選択します ([保存するデータファイルの場所を選択する, 14 ページ](#))。
- 3 BaseCamp アプリケーションウィンドウをフルスクリーン表示よりも小さくします。
- 4 写真を選択します (複数可)。
- 5 写真を地図上の選択した場所にドラッグアンドドロップします。
- 6 **はい**を選択します。




ジオタグを付けた写真が地図上に表示されます。

## 写真をトラックに一致させる

Garmin デバイスを使用してトラックの記録中に写真を撮った場合は、写真とトラックを一致させることができます。BaseCamp アプリケーションでは、写真とトラック (軌跡) の時間情報に基づいて写真と特定のトラックポイントを一致させます。ウェイポイントは、一致する写真ごとに自動的に作成されます。トラックの場所情報を使用して写真にジオタグを付けることもできます。

トリップの複数の写真とトラックがある場合は、写真と複数のトラックを一致させることができます。

- 1 次の中からオプションを選択します。
  - 写真と単一のトラックを一致させるには、トラックをダブルクリックします。
  - 写真と複数のトラックを一致させるには、複数のトラックを選択して (複数のアイテムを選択する, 14 ページ)、キーボードの ⌘+I を押します。
- 2  > 写真の一致を選択します。
- 3 参照を選択し、1 つ以上の写真を選択します。
- 4 一致する写真にジオタグを付けるを選択し、各写真に一致するトラックポイントの場所でジオタグを付けます (オプション)。
- 5 必要な場合は、時間シフトを選択し、写真ファイルの時刻をトラックの時刻と一致するように調整します (オプション)。
- 6 OK を選択します。

ジオタグを付けた写真が地図上に表示されます。

## ジオタグ付きの写真を移動する

- 1 写真を右クリックし、地図に表示を選択します。
- 2 ツール > ハンドを選択します。
- 3 写真を新しい場所にドラッグします。

## geotag 付きの写真を編集する

geotag を付けた写真の名前を変更したりコメントを追加したりすることができます。

- 1 写真をダブルクリックします。
- 2 編集を選択します。
- 3 新しい名前またはコメントを入力します。
- 4 完了を選択します。

## データ管理

BaseCamp アプリケーションでは、ルート、トラック、ウェイポイント、およびその他のデータがライブラリおよびデバイス領域に保存されます。ライブラリおよびデバイス領域は、BaseCamp アプリケーションウィンドウの左側に表示されます。

ライブラリおよびデバイス領域で、上部ウィンドウには、マイコレクションおよび接続されているデバイスのリストが表示されます。上部ウィンドウ内のリストを選択すると、下部ウィンドウにその内容が表示されます。

## リストおよびリストフォルダについて

リストとリストフォルダを使用して マイコレクション内のデータを整理できます。

リストとは、BaseCamp アプリケーションに格納されているアイテムの集合体です。1 つのアイテムを複数のリストに追加できます。

リストフォルダとは、リストを格納して整理する場所です。リストフォルダに格納できるのは、リストと他のリストフォルダだけです。

リストに追加されていないアイテムは、リストにないデータに表示されます。

### リストを作成する

- 1 ファイル > 新しいリストを選択します。  
新しいリストが マイコレクション に表示されます。
- 2 リスト名を入力します。

### アイテムをリストに追加する

- 1 リストを選択します。
- 2 マイコレクション、別のリスト、デバイスなどの別の場所からアイテムをリストにドラッグします。

### リストフォルダを作成する

- 1 ファイル > 新しいリストフォルダをクリックします。
- 2 フォルダ名を入力します (オプション)。

### リストフォルダにコンテンツを追加する

- 1 リストフォルダを選択します。
- 2 リストフォルダにリストまたはリストフォルダをドラッグします。

### アイテムをリストから削除する

アイテムをリストから削除しても、マイコレクション (データを削除する, 14 ページ)。

- 1 リストを選択します。
- 2 1 つ以上のアイテムを選択します (複数のアイテムを選択する, 14 ページ)。
- 3 編集 > 削除を選択します。


### スマートリストを作成する

スマートリストを使用すると、ユーザーが定義したルールに従って、マイコレクション内のデータを整理することができます。たとえば、前の週に作成したすべてのウェイポイントまたはアイテムを自動的に含むスマートリストを作成することができます。

- 1 ファイル > 新しいスマートリストを選択します。
- 2 ドロップダウンリストから、ルールカテゴリーを選択します。
- 3 ルールの情報を入力します。
- 4 OK を選択します。  
スマートリストが マイコレクション に表示されます。
- 5 スマートリストの名前を入力します (オプション)。

### スマートリストを編集する

スマートリストのルールを編集できます。

- 1 スマートリストを選択します。
- 2  を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - ルールを編集するには、ドロップダウンメニューから新しい値を選択します。
  - 新しいルールを追加するには、+ を選択します。
  - ルールを移動するには、— を選択します。
- 4 OK を選択します。

### アイテムを含むリストをすべて表示する

- 1 アイテムをダブルクリックします。
- 2 参照を選択します。  
アイテムを含むすべてのリストが表示されます。

### リストまたはリストフォルダを削除する

リストフォルダを削除すると、削除するリストフォルダ内のリストとリストフォルダもすべて削除されます。削除するリスト内のアイテムは、マイコレクションに残ります (データを削除する, 14 ページ)。

- 1 リストまたはリストフォルダを選択します。
- 2 編集 > 削除を選択します。

## 保存するデータファイルの場所を選択する

ウェイポイント、ルート、トラックなどのアイテムを作成するか BaseCamp アプリケーションにインポートするには、まずデータファイルの保存場所を選択する必要があります。データファイルは、コンピュータまたは接続されている Garmin デバイスに保存できます。

注：デバイスによっては、デバイス上でデータファイルを保存したり編集したりすることをサポートしていない場合があります。

次の中からオプションを選択します。

- データファイルをコンピュータに保存するには、**マイコレクション**を選択するか、[マイコレクション] の下のリストまたはフォルダを選択します。**マイコレクション**
- データファイルを接続されているデバイスに保存するには、自分の **Garmin デバイス** の下にあるデバイスを選択します。

## 複数のアイテムを選択する

アイテムを表示または編集するときに、ライブラリおよびデバイス領域で複数のアイテムを選択できます。アイテムは同じタイプである必要があります。例えば、複数のウェイポイントを選択し、すべての選択したウェイポイントのプロパティを一度に変更できます。

- 個別のアイテムを選択するには、アイテムを選択し、キーボードの **⌘** を押しながら、同じタイプの 1 つまたは複数のアイテムを選択します。
- アイテムの範囲を選択するには、1 つのアイテムを選択し、キーボードの **Shift** キーを押しながら、同じタイプの別のアイテムを選択します。**shift**

2 つの選択したアイテムの間にあるすべてのアイテムが選択範囲に追加されます。

## アイテムのプロパティを表示する

ウェイポイント、ルート、トラックなどのアイテムのプロパティを表示できます。

注：アイテムのプロパティの表示中に加えたすべての変更は自動的に保存されます。

- 1 つのアイテムのプロパティを表示するには、アイテムをダブルクリックします。
- 複数のアイテムのプロパティを表示するには、複数のアイテムを選択し、キーボードの **⌘+I** キーを押します。

## アイテムにメモやリンクを追加する

ウェイポイント、ルート、およびトラックに情報を追加することができます。

- ウェイポイント、ルート、またはトラックをダブルクリックします。
- メモ** を選択します。
- オプションを選択します (複数可)。
  - メモを追加するには、**メモのテキスト** を入力します。
  - ファイルを追加するには、**ファイルの追加** を選択し、ファイルを選択します。
  - 別のウィンドウからファイルを追加するには、**メモウィンドウにファイル** をドラッグアンドドロップします。
  - Web リンクを追加するには、**Web リンクの追加** を選択し、URL を入力して、**OK** を選択します。

## データを削除する

コンピュータや接続されている Garmin デバイスに格納されている BaseCamp データを完全に削除できます。コンピュータからアイテムを削除するには、そのアイテムを **マイコレクション** から削除する必要があります。

注：Garmin デバイスの中には、BaseCamp アプリケーションを使用したデータの削除をサポートしていないものがあります。

- 1 つ以上のアイテムを選択します (複数のアイテムを選択する, 14 ページ)。
- 編集 > 削除** を選択します。
- 削除** を選択します。

## 接続されているデバイスからデータを転送する

接続されている Garmin デバイスからマイコレクションにデータを追加できます。

- デバイスをコンピュータに接続します。
- 転送 > デバイスから受信** を選択します。
- デバイスを選択し、転送するアイテムのチェックボックスをオンにします。
- 受信** を選択します。

インポートされたデータが、マイコレクションのスマートリストに表示されます (**スマートリストを作成する**, 13 ページ)。スマートリストにはデバイス名の名前が付けられます。

注：異なるデバイスからデータをインポートする場合は、同じスマートリストを使用し、名前を新しいデバイスの名前に変更します。新しいデバイスからデータをインポートする前に、異なるリストまたはフォルダ内で転送されるデータを整理することをお勧めします (**データ管理**, 13 ページ)。

## 接続されているデバイスにデータを送信する

マイコレクションから互換性のあるデバイスにデータを送信できます。データは、デバイス上の Garmin ドライブ内のさまざまなフォルダに保存されます。

- デバイスをコンピュータに接続します。
- 次の中からオプションを選択します。
  - 1 つ以上のアイテムまたはリストをデバイスに送信するには、1 つ以上のアイテムまたはリストを選択し (**複数のアイテムを選択する**, 14 ページ)、**転送 > [Name]** をデバイスに送信を選択します。
  - 保存されているすべてのデータをデバイスに送信するには、**マイコレクション > 転送 > 'マイコレクション' をデバイスに送信** を選択します。
- デバイスを選択し、送信するアイテムのチェックボックスをオンにします。
- 送信** を選択します。

## 高度なデータ管理

他のソースからデータをインポートしたり、データをエクスポートして他のアプリケーションで使用したりすることができます。ユーザーデータをバックアップして、異なる BaseCamp のインストールに復元することもできます。

### データをインポートする

サポートされているファイルタイプを BaseCamp アプリケーションにインポートできます (**サポートされているファイルタイプ**, 14 ページ)。

注：この機能を使用してデバイスからコンピュータにデータを転送することはできません (**接続されているデバイスからデータを転送する**, 14 ページ)。

- インポートされるデータファイルの場所を選択します (**保存するデータファイルの場所を選択する**, 14 ページ)。
- ファイル > '[Name]'** にインポートを選択します。
- ファイルを選択し、**インポート** を選択します。

### サポートされているファイルタイプ

これらのファイルタイプを BaseCamp アプリケーションにインポートできます。

- GPS 交換フォーマット (.gpx)
- フィットネスファイルフォーマット (.fit)
- Garmin GPS データベース (.gdb)
- Garmin Training Center (.tcx)

- GPS 位置 (.loc)
- Garmin カスタム地図 (.kml または .kmz)
- 写真 (.jpg または .jpeg)

## データをエクスポートする

データをファイルにエクスポートしてコンピュータに保存できます。エクスポートできるのは、マイコレクションのアイテムまたは接続されている Garmin デバイスに格納されているデータです。

注: Garmin カスタム地図およびイメージなどのオーバーレイデータはファイルにエクスポートできません。BirdsEye オーバーレイデータをエクスポートするには、データをバックアップする必要があります (データをバックアップする, 15 ページ)。

1 次のの中からオプションを選択します。

- コンピュータに格納されているすべての BaseCamp データをエクスポートするには、マイコレクションファイル > 'マイコレクション' のエクスポートを選択します。
- 1 つ以上のアイテムまたはリストをエクスポートするには、1 つ以上のアイテムまたはリスト (複数のアイテムを選択する, 14 ページ) を選択し、ファイル > 選択したユーザーデータのエクスポートを選択します。
- 接続されているデバイスに格納されているすべてのアイテムをエクスポートするには、デバイスを選択し、ファイル > [デバイス名] のエクスポートを選択します。

2 名前を入力します。

3 エクスポートされるファイルの場所を選択します。

4 ファイル形式を選択します。

5 エクスポートを選択します。

## データをバックアップする

すべてのデータ、リスト、およびフォルダを 1 つのアーカイブファイルにバックアップできます。アーカイブファイルは、別の BaseCamp に復元できます。

1 ファイル > バックアップを選択します。

2 バックアップファイルの場所を選択します。

3 ファイル名を入力し、バックアップを選択します。

## バックアップデータを復元する

### 注記

バックアップファイルからデータを復元すると、既存のすべてのデータ、リスト、およびフォルダが削除され、バックアップデータで上書きされます。削除されたデータは元に戻せません。

1 ファイル > 復元を選択します。

2 復元を選択して確定します。

3 バックアップファイルを選択し、復元を選択します。

## カスタム POI を管理する

Garmin デバイスや地図製品の多くには、あらかじめカスタム POI (ジャンル別施設) がインストールされています。POI はダウンロードしたり、独自に作成したりできます。また、コンピュータからデバイスやデータカードに POI を転送することも可能です。詳細については、[garmin.com/poiloader](http://garmin.com/poiloader) を参照してください。

カスタム POI を接続されたデバイスにインストールした後で、BaseCamp アプリケーションを使用してそれらを管理できます。カスタム POI の表示または非表示を切り替えて、地図上の検索結果にどのように表示されるかを制御できます。

1 カスタム POI が含まれるデバイスをコンピュータに接続します。

BaseCamp アプリケーションはカスタム POI ファイルを検出します。

2 地図 > インストールされている POI ファイル情報の順に選択します。

3 地図上に表示される検索結果に含める POI を選択します。

## オプション

BaseCamp アプリケーションの多くの設定をカスタマイズできます。

### 一般環境設定

測定単位、位置フォーマット、地図の基準面などの一般環境設定をカスタマイズできます。

BaseCamp > 環境設定 > 一般の順に選択します。

測定単位: 測定単位を設定します。

注: カスタム設定を選択する場合は、詳細オプションを選択して、データのタイプごとに測定単位を個別に設定する必要があります。

船首方位: 地図を表示するときに使用する見出しタイプを設定します。

位置フォーマット: 位置座標形式を設定します。

注: カスタム設定を選択する場合は、オプションを選択して、カスタムのグリッドの詳細を編集する必要があります。

基準面: 位置フォーマットを参照するときに使用する地図の基準面を設定します。

注: カスタム設定を選択する場合は、オプションを選択して、カスタムの基準面の詳細を編集する必要があります。

### ディスプレイと地図の環境設定

地図の外観と地図上のアイテムをカスタマイズできます。

BaseCamp > 環境設定 > 表示を選択します。

ヒント: 地図ヒントのテキストを有効にし、ヒントのテキストが表示されるタイミングを設定できます。

3D 強調: 3D 地図における高度変化の強調の値を設定します。

注: この値を 0% にすると、高度変化が縮尺どおりに描画されます。

3D 品質: 3D 地図機能の詳細度を変更します。

ラインのスムージングを有効にする: 地図上の線の端を滑らかにします。

アイコンサイズ: 地図上に表示されるアイコンのサイズを設定します。

ラベル: 地図に表示される POI (ジャンル別施設) ラベルの数を設定します。

ルート幅: 地図上に表示されるルートの幅を設定します。

トラック幅: 地図上に表示されるトラックの幅を設定します。

地図情報を隠す: 各アクティビティタイプに合わせて地図上のアイテムと機能を非表示にします (地図機能を非表示にする, 15 ページ)。

### 地図機能を非表示にする

アクティビティごとに表示される地図機能をカスタマイズできます。

1 BaseCamp > 環境設定 > 表示 > 地図情報を隠すを選択します。

2 アクティビティを選択します。

3 非表示にする地図機能のチェックボックスをオフにします。

4 OK を選択します。

### ルート探索の環境設定

ソフトウェアで各アクティビティプロフィール (アクティビティ, 2 ページ) のルートを計算する方法をカスタマイズできます。例えば、ドライブプロフィールでは道路ベースのルートを計算し、ハイキングプロフィールでは直行ルートを計算できます。

BaseCamp > 環境設定 > ルート探索を選択し、ドロップダウンリストからアクティビティプロフィールを選択します。

計算モード: 道路を使用するルートのルート計算方法を設定します。時間優先オプションを選択すると、走行時間が短くなるルートが計算されます。距離優先オプションを選択すると、



走行距離が短くなるルートが計算されます。カーブの多い道オプションを選択すると、自動二輪車での観光ルートに適したカーブの多い道が優先されます。

**高度モード:** 直行ルートの上り坂を最小限にすることができます。

**回避する道路タイプ:** ルートで回避する道路のタイプを定義できます。

**回避する機能タイプ:** ルートで回避する機能のタイプを定義できます。例えば、有料道路、登山道、または狭いトレイルを回避することができます。

**エリアの回避:** ルートで回避する特定のエリアを定義できます。

**カスタム速度:** 道路の種類別の平均速度を設定できます。

**トラックの属性:** 高さ、重量、有害物質などのルートを計算するときに使用するトラックの属性を設定します。この設定は、トラックベースのアクティビティでのみ使用できます。

**RV 属性:** 高さ、重量などのルートを計算するときに使用する RV の属性を設定します。この設定は、RV ベースのアクティビティでのみ使用できます。

### エリアの回避を追加する

アクティビティのルートを作成するとき、地図上に避けるべき特定のエリアを定義できます。

- 1 **BaseCamp > 環境設定 > ルート探索 > エリアの管理**を選択します。
- 2 アクティビティを選択します。
- 3 地図上で回避する場所を選択します。
- 4 **+**を選択します。
- 5 ドラッグしてボックスを描画し、回避するエリアを囲みます。  
エリアの回避は地図上で赤いボックスとして表示され、エリア名がエリアの回避ウィンドウに表示されます。
- 6 完了を選択します。

### エリアの回避を削除する

アクティビティに追加したエリアの回避を削除できます。

- 1 **BaseCamp > 環境設定 > ルート探索 > エリアの管理**を選択します。
- 2 アクティビティを選択します。
- 3 削除するエリアの回避を選択します。
- 4 **—**を選択します。
- 5 完了を選択します。

## データ転送の環境設定を設定する

ルートおよびトラックのデータを特定のデバイスに送信する方法をカスタマイズできます。BaseCamp アプリケーションでは、以前に接続したデバイスが記憶されているので、以前に接続したデバイスを接続せずに環境設定を設定できます。

- 1 **BaseCamp > 環境設定 > 転送**を選択します。
- 2 デバイスを選択します。
- 3 オプションを選択します (複数可)。
  - ルートがデバイスに転送されるときにルートからポイントを削除してルートの詳細度を下げるには、**デバイスに転送後はルートからシェイピングポイントを削除**を選択します。
  - ルートが転送されるときにルートをデバイス内蔵の地図に合わせるには、**転送時は常にルートをデバイスの地図に合わせる**を選択します。
  - デバイスに送信するトラックの詳細レベルを制限するには、**中間点を削除してトラックを簡素化**を選択し、トラックあたりの最大ポイント数を入力します。

## 検索の環境設定を設定する

アプリケーションで地図上のデータを検索する方法をカスタマイズできます。

- 1 **BaseCamp > 環境設定 > 検索**を選択します。

- 2 次の中からオプションを選択します。

- 検索の範囲を地図の中心から変更するには、**検索範囲値**を変更します。
- 検索に追加の結果を表示するには、**クイックサーチに Yelp の結果を表示**チェックボックスをオンにします。

## マウスとキーボードの環境設定

**BaseCamp > 環境設定 > コントロール**の順に選択します。

**マウス:** マウスのスクロールホイールのアクションとスクロール方向を設定します。

**キーボード:** キーボードのショートカットを設定します。

## 詳細環境設定

データストレージやデータ変換の環境設定を変更できます。

**BaseCamp > 環境設定 > 詳細**の順に選択します。

**ディスクキャッシュサイズ:** 地図データの保存に使用するディスク容量を設定します。スライダバーを処理速度優先オプションの方向に動かすと、頻繁に表示される地図データのロードが速くなりますが、ハードディスクの使用量が多くなります。

**注:** BaseCamp アプリケーションによって使用されるハードディスク容量は、スライダバーの下に表示されます。

**ライブラリ:** BaseCamp アプリケーションによって情報がハードディスクに格納される場所を設定します。

**トラックの変換:** トラックを使用してルートを作成する際に生成される経路地の数を設定します。

## 工場出荷時の初期設定にリセット

BaseCamp アプリケーションのすべての環境設定を、工場出荷時の初期設定にリセットできます。

**注:** 環境設定を工場出荷時の初期設定にリセットしても、ウェイポイント、ルート、トラックなどの保存済みアイテムは削除されません (**データを削除する**, 14 ページ)。

- 1 **BaseCamp > 環境設定 > 一般**の順に選択します。
- 2 **工場出荷時の初期設定にリセット**を選択します。
- 3 **再起動**を選択して確定します。

工場出荷時の初期設定が復元され、アプリケーションが再起動します。



# 索引

## A

アドベンチャー 7, 11, 12  
アクティビティ 2, 8  
カスタム 2

## B

ビデオ 12  
BirdsEye イメージ 5, 6  
クレジット 4  
サブスクリプション 4, 5

## C

地図 2  
BirdsEye イメージ 4-6  
方向 3  
表示 3, 5, 6  
表示方法 3  
位置を検索する 6  
カスタム 4-6  
距離を測定する 3  
参照 3  
送信 3  
ズーム 3

## D

データ  
保存 13  
転送する 14  
データの保存 13  
データを保存する 14

## E

エクスポート 14

## F

ファイル 14  
バックアップ 15  
エクスポート 15  
復元 15  
インポート 14  
プロパティ 14  
削除 14

## G

ジオタグを付ける 12, 13  
geotag を付ける 13  
グラフ 11

## I

位置, 検索対象 6  
位置を保存する 14  
位置を検索する 6  
インポート 14  
印刷する 4  
犬, トラッキング 12

## J

ジャンル別施設 ( POI ) , POI Loader 15  
ジオキャッシュ 6, 7  
ダウンロード中 7  
設定 7

## K

環境設定 15  
データ 16  
ディスプレイ 15  
エリアの回避 16  
検索 16  
コントロール 16  
工場出荷時の初期設定 15, 16  
ルート探索 16  
単位 15  
カスタム 6

## M

メモ 14

## R

リンク 14

リスト 13

作成 13  
スマートリスト 13  
ルート 7, 8, 10  
地図上に表示する 8  
編集 8, 14  
再生 11  
作成 7, 8  
設定 16

## S

写真 12, 13  
ジオタグを付ける 12, 13  
geotag を付ける 13  
ソフトウェア, 更新 2

## T

トラック 7-10, 13  
フィルタリング 10  
編集 10  
再生 11  
設定 16  
トリップ 7  
トリッププランナー 7-9. 参照項目 ルート  
統計 9  
ツール 6  
ツールバー 1, 2  
通知 2

## U

ウェイポイント 6  
編集 6, 14

